

北広島町におけるアライグマの初記録

茶村 真一郎^{1*}・上野 吉雄²

¹ 日本野鳥の会広島県支部・² 認定 NPO 法人西中国山地自然史研究会

First Record of Raccoon *Procyon lotor* in Kitahiroshima-cho, Hiroshima Prefecture

Shin-ichiro CHAMURA* and Yoshio UENO

報告

アライグマ *Procyon lotor* はカナダ南部からパナマ原産の食肉目アライグマ科の哺乳類で、日本へはペットとして輸入され、逃げ出したり放逐されたものが繁殖し、全都道府で個体群の定着が確認されている。トウモロコシなどの農作物、養殖魚などへの食害、在来生物群集への影響、社寺などの歴史的建造物への被害、アライグマ回虫や狂犬病などの人獣共通感染症を媒介する危険性などから、環境省により特定外来生物と緊急対策外来種に選定されている（自然環境研究センター 2019）。

広島県では 2020 年ごろから三次市などで確認されている。また、2018 年 12 月に安芸太田町坪野で轢死体が確認されている（畑瀬・上野 2020）。さらに、広島大学東広島キャンパスで、2021 年 6 月 29 日に罠で初捕獲されている（「アライグマ - 広島大学デジタル博物館」, <https://www.digital-museum.hiroshima-u.ac.jp/index.php/> アライグマ, 2023 年 2 月 13 日確認）。

アライグマは、2022 年 12 月 8 日に北広島町南西部に豊平地域今吉田（34°36'88"N, 132°27'17"E, 標高 397m）で確認された。また、北広島町内では 2021 年 10 月に豊平地域の都志見で目撃されている（原 廣史朗 私信）。

アライグマを確認したのは、溜池のそばの山林である（図版 1-A）。2022 年 12 月 8 日 2 時 49 分に、自動撮影カメラで撮影された（図版 1-B）。この地点は 15 年以上前から環境省の中大型哺乳類のモニタリングサイト 1000 の調査地となっているが、アライグマは今回初めて撮影された。

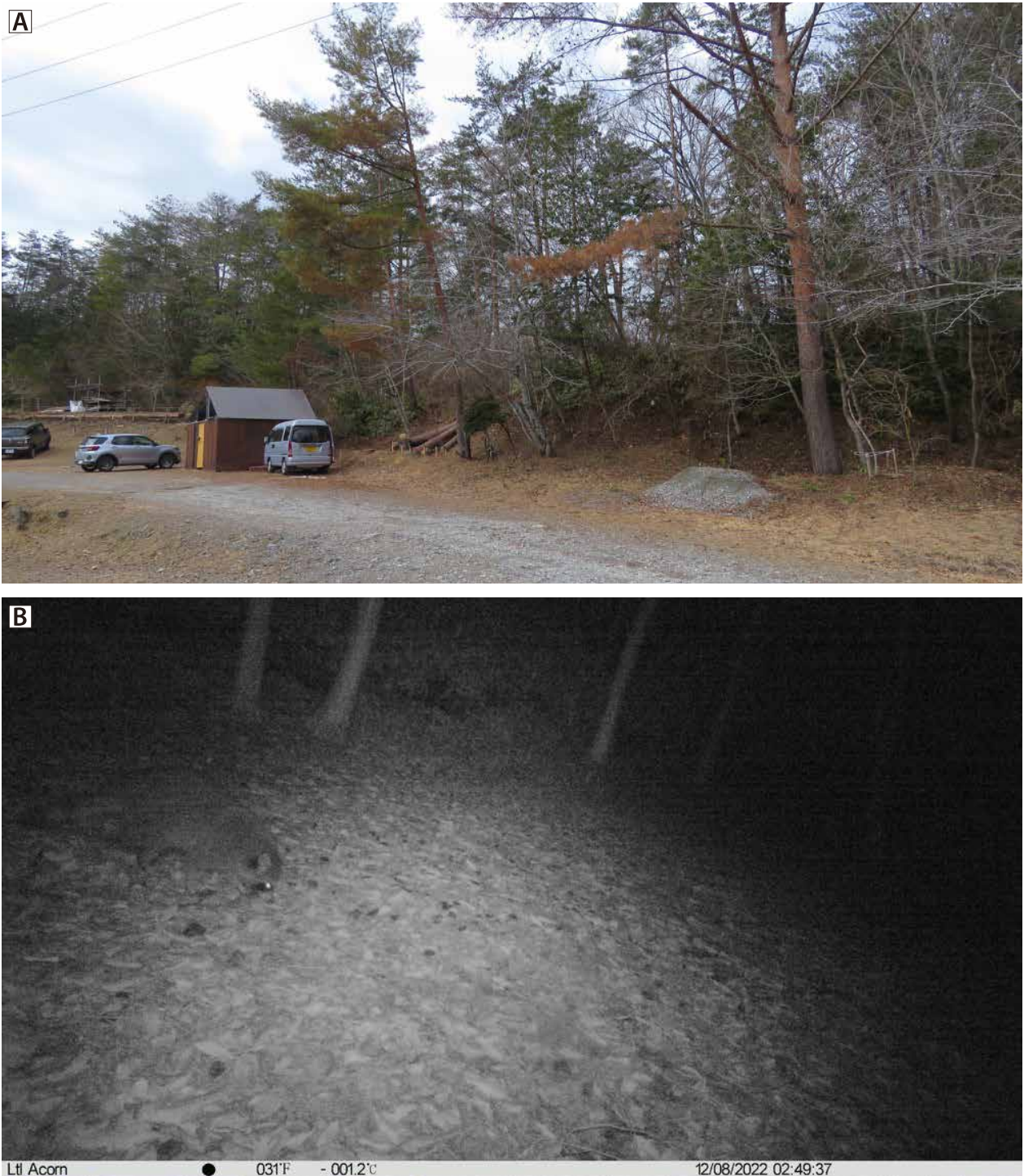
アライグマは木登りがうまく、家屋の屋根裏にすみつくこともある。三次市では、ピーナネなどの農作物やナゴヤダルマガエルなど希少野生生物に対する深刻な被害が確認されている（広島大学デジタルミュージアム 13 February 2023）。また、希少種を含む在来生物群集への影響が懸念される（自然環境研究センター 2019）。さらに、近隣の島根県益田市、津和野町、浜田市を中心に捕獲数が増加し、近年は年間約 300 頭が捕獲されている。これらの地域ではブドウなどの農作物被害、金魚や錦鯉への食害、住宅地への屋根裏侵入による生活環境への被害も発生しているという（「島根県：アライグマ生息情報（トップ / 県政・統計 / 地域振興・交通 / 関係機関 / 中山間地域研究センター / 鳥獣対策科）」, <https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/region/kikan/chusankan/choju/araiguma.html>, 2023 年 2 月 21 日確認）。北広島町内ではこのような被害が出ないうちに早期の駆除が望まれる。

北広島町におけるアライグマの情報を提供していただいた安佐動物公園の畑瀬 淳氏と原 廣史朗氏に、また、島根県益田市におけるアライグマの情報を提供していただいた日本野鳥の会島根県支部長の田原 博氏にお礼申しあげる。

引用文献

畑瀬 淳・上野 吉雄（2020）広島市近郊域におけるアライグマの確認例. 安佐動物公園飼育記録集 43：27-29
自然環境研究センター（2019）最新日本の外来生物. 平凡社, 東京

図版 1



A : アライグマの確認地点 2023年2月16日
B : アライグマ 2022年12月8日